

山の日情報

(第 15 号)

平成29年9月26日

秋田県生活環境部
自然保護課

【活動記録】

9月16日に虎毛山避難小屋において、ボランティアによる塗装作業を行いました。作業に参加してくれたのは、横手高校山岳部、増田高校山岳部のほか湯沢山岳会などの社会人山岳会の総勢38名です。

避難小屋の塗装作業で大変なのは荷揚げ。今回準備したペンキ16ℓはペットボトルに小分けし、ペンキや刷毛などの資材は高校山岳部を主体に荷揚げしてもらいましたが、さすが山岳部の皆さん。重くなったザックにもかかわらず予定より30分早く山頂に到着しました。



(雲上の楽園がある虎毛山)



(山頂に建つ避難小屋)

虎毛山避難小屋は築後5年の比較的新しい小屋ですが、改築以前から市役所を始め、地元の山岳会などから大切に維持管理されています。

塗装作業にあたっては、コンクリート基礎と小屋の看板が汚れないように養生を行い、湯沢市観光・ジオパーク推進課の沼倉さんの指揮のもと、女子部員は手の届く範囲、男子部員は脚立やローラー刷毛を使って高所部分の塗装作業を行いました。



(レインコート着用でペンキ塗り)



(最上部までペンキを塗る)

作業中の皆さんはとても真剣で、飛び跳ねたペンキで顔を汚すのも気にせず作業を続け、なんと1時間程度で作業完了！

避難小屋の外壁は見違えるほど綺麗になったほか、予定外に小屋前と湿原にあるベンチやテーブルの塗装も行うことができました。



この後、湯沢山岳会は小屋に宿泊して、翌日高松岳へ縦走するとのことであったため、小屋前にて閉会式。同会の高橋和夫さんからは、高校生への感謝の言葉と、山岳部の活動などでまた虎毛山に来てもらいたいとお話がありました。

虎毛山は‘虎’という字の付く山では日本一高く(1,432.9m)、トラ年の時には全国の阪神タイガースファンが登山に訪れることで有名ですが、虎毛山避難小屋は日本一大切に使われている山小屋の1つではないでしょうか。

皆様のご協力、本当にありがとうございました。



(完成後の記念写真 トラポーズ(?))

(参加者の感想)

○今回、虎毛山避難小屋のペンキ塗りボランティアをさせていただいて、全員で協力して無事に終わらせることができ本当に良かったです。荷揚げから頂上でのペンキ塗りは大変であると皆感じたようですが、やはり、いつも自分たちが山に登ることができるのは、そのような活動を裏でしてくださっている方々のおかげなので感じ、改めて感謝を申し上げたいと思います。今回のような貴重な体験をありがとうございました。 (横手高校山岳部男子)

○ペンキ塗り作業は普段でもなかなかできるものではないので、今回の経験は非常に新鮮で充実したものになりました。ペンキ特有の香りと飛び散りに苦戦しましたが、作業自体はとても楽しく皆で協力し合いながら進めることができました。男子生徒は顔が真っ黒になるくらいの頑張りで、女子生徒も飛び散るペンキの汚れを気にせず、黙々と作業を行っていました。次回もこのような機会があればまた、ぜひ、参加したいと思います。（横手高校山岳部女子）

○今回のボランティアでは虎毛山の避難小屋のペンキ塗りをしました。虎毛山は初めてで、思っていたよりも距離が長く往復で 15 kmほどあり、急な斜面も何度かあってとても登り甲斐がありました。避難小屋は新しい小屋でしたが、更にペンキを塗って綺麗にすることができました。

今まで山に登る時はそこまで深く登山道や山小屋の整備について考えたことはありませんでしたが、今回のボランティアをして、多くの人たちが大変な苦勞をして登山道や山小屋をいつも綺麗に維持しているのだと思いました。これからはその大変さを考えて、大切に山小屋を使っていききたいと思いましたし、山の植物や動物を傷付けなような山登りをしていききたいと思いました。

今回のようなボランティア活動がまたあったら、できるだけ積極的に参加していきたいです。とても良い経験になりました。（増田高校山岳部男子）